

初めて見る 金環日食

土橋 政伸

私が覚えている限りで初めての金環日食が大分県の佐伯でも見る事が出来るかもしれない、しかも これを逃すと一生見る事は出来ないだろう これは絶対に見なくては一生後悔するかもしれない。と思い 会社の有給の予定をカレンダーに書き込んでから半年が経ちよいよ金環日食が来週に迫ったころ東北への仕事が入った、うーん！どうしようか？少し考えてから もしかしたら仕事の帰りに金環帯の真ん中の東京や静岡を通る事が出来るんじゃないか？金環日食当日の佐伯市の週間天気予報も曇りでちょっと微妙だし。いちかばちか行ってみようか決め とりあえず東北へ仕事に行く事にした。

東北で仕事を終えて帰りの仕事はどうするか？新潟に行くか？東京に行くか？昼過ぎに新潟から山口までの仕事が出たとの連絡が入った。うーん！日程的に少し微妙 かなりの強行軍になるかもしれない、とりあえず新潟に行き荷物を積み帰りの日程を見るとなんと山口の到着日が5月22日、ラッキー！なんと21日はゆっくり時間が取れる。

そうなると後は撮影場所の選択です、静岡と和歌山県の串本町が候補地だが 天気が今ひとつぱっとしない、まあ帰りながら考えようと、長野あたりで天気予報を見ると静岡も串本もあまりよろしくない、平均して日本海側が天気がよいみたいで太平洋側は全国的に天気はあまり良くない。どうしようか？とりあえず 静岡は捨てて名古屋 関西 岐阜に候補をしばって とりあえず金環食帯の限界地の関が原に行ってみよう、そこに行くとあとにはまた考えよう、20日の朝には事務局の山本さんに電話をして大分の様子を聞いたり串本の情報をもらったがこればかりは試してみないと判らんとする事でテレビの天気予報とテレビの日食情報に釘付けです。

5月20日の午後には関が原に到着、ここではまず相撲が千秋楽なのでビールを飲みながら相撲観戦、大方の予想を覆す 旭天鵬の優勝 37歳8ヶ月の優勝は見事です、それにしてもまたしても日本人の優勝は見られませんでした、ひとしきり感動した後は いよいよ最終的な候補地の決定をしないといけない、しかし 相変わらず串本の天気はぱっとしない、ここ関が原は曇りのち晴れ降水率は0パーセント、うーん 悩む。しかし串本に行くと日食を見る事が出来なかったら最悪だし、ここは確実に金環日食を見るには関が原にとどまった方が賢明かな？どうしようか散々迷ったがここ関が原で金環日食を見ようと決めたらまずは撮影場所を決めなくてはならない、東の方角が開けていて高い建物など無いところで大型車が止まれるところ、これを探すのが一苦労だがここ関が原はわりとそのような所は多いように感じていたので ひとまずビールの酔いを醒ますために一眠り。

一眠りの後 アルコールチェッカーで酔っていないのを確認した後 撮影場所の選択の為に付近の木之本 米原 を回ったが やはり関が原が一番良いようでバイパス沿いのパーキングに決定、あいにく一番よい場所はゴルフか釣り行きの乗用車が止めていたので改めて出直す事にして、とりあえず今晚は近くのコンビニで寝ましょう。

朝 目覚まして起床、時刻は4時、肝心の天気はと車のカーテンを開けると空は厚い雲が覆っている、ありゃー！どうしたものかと、車を降りて東の空を見ると お！明るい。これはもしかしたら晴れるかな？ととりあえず機材のセッティングである。

今回の機材は CanonEosX5 (改造) に標準レンズの 18-55mm を使って風景を入れた日食の連続写真撮影と 会社の上司から拝借したニコン D200 にタムロン 300mmF2.8 のレンズで太陽の拡大写真撮影を 共に数年前の日食の時に使おうと国際光器より購入したソーラーフィルター(この時は佐伯はあいにくの雨でわずかに雲の隙間から見る事が出来た) をレンズの前に装着して撮影に臨みます。

最初は D200 を GP-D に載せて太陽の拡大連続写真を撮ろうとしましたが D200 のグリップ電池が干渉して乗せることができずやむなく三脚に載せて10分間隔でファインダーを覗いてシャッターを切る事にしました、EOSの方はGP-Dに載せて固定撮影でこちらも10分間隔での撮影です。

空が明るくなり太陽の高度がどんどん上がってくるにしたがって大きな厚い雲も南のほうに行って行き日食が始まるころにはほとんど無くなり、時折薄い雲が太陽の前を横切るくらいで観測にはほとんど影響がなくなり絶好の観測日和になりました。



しかしこうなったら串本の天気は気になるもので、なんと串本も雲はあるものの観測できていると言う事でした、串本町に行けばよかったかなあとも思いましたが まあ あの時の判断ではここに決めるのは妥当だし関が原でも金環日食なんだからと自分に納得させています。日食も順調に観測できいよいよ金環日食の時です、カメラのシャッターを切りながらその瞬間を待ちます、わずかながらですが月が太陽の中に完全に入る前にベイリーピースも見えました、金環日食の瞬間も無事に見届ける事が出来ました。

撮影も順調に進んで行き金環が終わったころ一人の男性がパーキングに入ってきて眩しそうに空を見上げているので、こちらに来て見てみませんか?と言うと いいんですか?と言いながら望遠レンズを覗いて おー!と歓声を上げました。良いものを見さしてもらいましたありがとうございましたと言ってまたパーキングを出て行きました、程なく今度は、お母さんとその子供らしき親子がパーキングに入ってきた今度は地面を見ながら何かを探しています、どうやら木漏れ日の太陽を探しているようですがあいにくこのパーキングには木漏れ日で太陽の形を見る事が出来るような草木は無いようです、そうしているうちに子供のほうが私と目があつたので 兄ちゃこっちに来て太陽をしてみる?と言うと いいんですか?と言いながらカメラのファインダーを覗くと わー!歓声をあげました、私がお母さんもどうぞ、と言うと いいんですか?と言いながら覗くと やはり わー!よく見える!と大変喜んでくれました、話を聞くと琵琶湖の西のほうから金環日食を見る為に大垣のほうに来た帰りみたいです、その親子も ありがとうございましたと言いながらパーキングを出て行きました、子供のきらきらした目を見るとうれしくなりますね。



写真は左が風景写真ですが金環食の最後のほうの 20 分くらいは写真の枠からはみ出してしまい入りきりませんでした、左は 26mm ぐらい下の方は 300mm による望遠写真です。

両方とも開始は 6:18 からだいたい 10 分間隔です、金環食の時間は 7:31 分終わりは 8:56 です。

